

# POPOLA ぽぽらだより

TAKE FREE  
ご自由にお取りください

まちのことを、はじめる場所。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行する、まちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部は、まちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

発行元 春日部市市民活動センター  
(指定管理者：(株)コンベンションリンケージ)  
発行日 年4回（3月、6月、9月、12月）

2020.6  
vol. 33



## Smile Up マスクの下は笑顔

見通しのつかない困難を乗り越えれば青い空が待っているという意味の「雲外蒼天（うんがいそうてん）」という言葉があります。今はまさに誰もが不安と隣合わせの生活を送っていると思いますが、そんな中でもマスクの下にとびきりの笑顔を浮かべてお互いを励まし、前を向こうと勇気づけてくださる登録団体の皆さんがいました。感謝の気持ちでぽぽら春日部も再スタートします。

日頃より市民活動センターをご活用いただきありがとうございます。コロナウイルス感染防止のため、今年度は平時とは異なる運営となっておりますが、皆さまにはご理解とご協力をいただき、重ねてお礼申し上げます。

今後 With コロナを考えなければならない状況下において、「市民活動」の役割や新しい活動のかたちがいかに問われているかと思えます。「市民活動センターはどのように進化すべきなのか？」ということをは是非皆さまと一緒に考え、挑戦していきたいと考えています。そうした中で、「マスクの下は笑顔」にご登場の皆さまには、「元気」と「勇氣」をいただきました。

春日部市市民活動センター 所長 武田 淳一

※「マスクの下は笑顔」にご参加いただいたすべての方の写真はぽぽら春日部館内に掲示しております。

緊急企画!!

# 自粛の間、登録団体さんは何してました??

## CASE 1



ビデオ会議で総会を開催。できたことで生まれた自信と意識の変化。ITを活かした新しいコミュニケーションのかたち。

## 吉田 理子さん

一般社団法人 S-net サポーターズ  
埼玉政経セミナー  
埼玉中小企業家同友会東部地区会

—ビデオ会議などのオンラインサービスを利用するに至った経緯を教えてください。

3月はとりあえず会合を「休み」や「延期」にすることが多かったんです。ただ、ご存知の通り状況が深刻化していくなかで、「いつまでも活動を止められない」、「活動を止めないためにはどうしたらよいか」と頭が切り替わり、「戻らないんだから前に進むしかない」と具体的な行動を起こしていきました。

—具体的にはどのようなサービスを利用したのですか？

パソコンやスマホを使って顔を見ながらビデオ会議ができる「Zoom (ズーム)」というウェブサービスをよく利用しました。それ以外にも、総会の議題を事前に「YouTube (ユーチューブ)」で見てもらったり、意見を収集するのに「Google フォーム」というアンケートツールを使ったりしました。

—複数の団体に所属されていますが、ITの環境や知識もバラバラで導入に苦労も多かったと想像します。

はい。IT操作が少し苦手だったり、新しいチャレンジへの反発もあつたりで、初めは苦労もありました。最初はビデオ会議の前に一人ひとりと事前に(つなぐ)練習もしましたし、実際に使って

いく中でビデオ会議特有の難しさなどいろいろと分かってきました。

—皆さんの反応はいかがでしたか？

女性たちはすぐに「面白い!」と反応して、そこにいるのとあまり変わらない感じで会話が弾んでましたね(笑)。年配の方で苦手意識を持っていた方も、「やってみたら意外にできた」とその後は何の違和感もなく利用していました。できたことが逆に自信になり、気持ちの変化につながっていると感じます。今では「会議はネットでやる?」とか言われています(笑)。

—団体内でオンラインサービスを導入するには何が必要だと思いますか？

あくまで私の経験上での話ですが、いくつかポイントをあげるとしたら、

①使い方などを最初にちゃんとサポートしてくれる人がいること

②遊びから入る(面白いと思ってもらう)

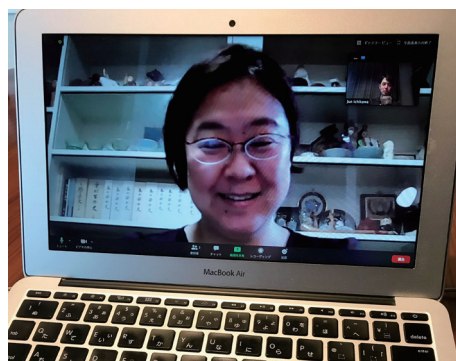
③(団体の)活動を継続することの重要性を理解する

といったことは大切かなと思います。

「うちでもビデオ会議をやってみたい!」という団体さんがいらっしゃつたら、S-net サポーターズがサポートしますのでお気軽に声をかけていただきたいですね。

—最後にこれからの活動について教えてください。

今、所属する団体の一つでは子ども向けの動画コンテンツを作り始めています。今回のコロナによる社会情勢の変化がなければ「作る」という発想はありませんでした。難しい時期ではありますが、「どうしたらできるか?」ということを問いながら新しい発信の仕方やコミュニケーションの方法を探していきたいと思います。



## 体験手記

今回の取材では「Zoom (ズーム)」というビデオ会議のウェブサービスを使用しました。参加するだけなら面倒な登録手続きなどもないのでとても簡単です。パソコンがなければスマホでもOK。画面越しの会話も新鮮で楽しかったです。インターネットの環境があれば皆さんもぜひトライしてみてください!

新型コロナウイルスの感染拡大は社会・経済に甚大な影響をもたらしました。人と会うことすら遮られるなか、「市民活動を止めないためにできることは何か?」「今だからこそできることは何か?」など、その実例を紹介していただいた登録団体に緊急取材を行いました。

※取材も対面ではなくオンラインで行っています



## CASE 2



マスク不足の4月中旬、450世帯に約5000枚のマスクを配布。マスクの配布でつながる自治会助け合いの絆。

尼子 公俊さん

米島第三区自治会



—どうして自治会でマスクを配布することになったのでしょうか?

会員の不安とコロナに対する恐怖を少しでも取り除くためには何ができるのか?と前役員と話していた時、政府から配布されるマスクが大幅に遅れてたこともあり、「そうだ、マスクを全世帯へ配布しよう!」となりました。

—実際どのようにマスクを各戸に配布されたのでしょうか?

世界中が需要逼迫のなか、マスクの質

を保ち、必要な時期に早くお届けすることが最大の課題でしたが、仲間の助けを得て何とかマスクを手に入れることができました。役員が衛生管理を徹底し、小袋に分け、28ブロックからなる班長が各世帯を訪問して手渡しで配りました(不在時はポストイン)。

—マスクを受け取った町内の皆さんの反応はいかがでしたか?

受け取った方々から直接、または知人を通じて、「本当にありがとうございます

す。」と沢山の感謝の言葉を頂きました。

—自治会として工夫していること、心がけていることを教えてください。

「平穏で楽しく、豊かな日常を」がモットーでしたが、これからは「With コロナと防災のコラボレーション」が必要であると感じています。コロナ前の日常に戻るのが難しい中、新しい日常性を、そして「ニューモラル」への変革を模索していきたいと思います。

でも頑張る!

## 自粛川柳 作品発表

先月、不要不急の外出を控える状況下において、自粛中でも元気を出すための川柳を募集しました。たくさんのご応募ありがとうございました。左記の作品以外の全作品をぽぽら春日部館内の掲示板およびホームページにて公開していますので、あわせてお楽しみください。

手作りの  
マスクをほめて  
目が笑う

あべいさお

3密が  
妙に恋しい  
会議室

詠み人知らず

テレワーク  
上はワイシャツ  
下パジャマ

森のくまさん

外出は  
自粛はできても  
酒はムリ

在宅ドランカー

年寄りも  
デジタル活用  
コロナ禍な

サブブロックちゃん

スコアも  
自粛期間も  
あと少し

百獣(110)の王

コロナ禍で  
サイフの中身も  
無観客

冷奴

テレワーク  
子どもが上司に  
早変わり

ポッポちゃん

その発想は  
なかった

## 【重要】施設ご利用にあたってのお願い

6月から一部施設の貸館が再開されています。ご利用に際しての注意事項を改めてまとめましたので、よくご確認の上ご来館ください。

### ●ご利用可能な施設※

- ・会議室
- ・交流・ミーティングスペース
- ・共同事務室
- ・印刷室
- ・メールボックス、ロッカー
- ・窓口、貸事務所など



### ●休止中の施設

- ・キッズルーム
- ・情報コーナー
- ・展示スペース
- ・閲覧用パソコン



※市民活動を目的とした利用のみ

- ・風邪症状のある方は入館をお断りしております。
- ・館内ではマスクの着用をお願いいたします。
- ・咳エチケット、手洗い、手指の消毒をお願いいたします。
- ・各施設定員の50%以内の人数でのご利用をお願いいたします。
- ・社会的距離2メートルを確保してください。
- ・大きな声を出したり、息の上がる激しい運動は行わないでください。
- ・ご利用中は換気にご協力をお願いいたします。
- ・食事は禁止といたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設利用について変更する場合があります。

※その他、ご利用に際して、職員より個別にお願いをする場合がございます。



ボシュウ

オンラインでも交流しよう!

要予約

## 令和2年度 第1回利用者会議

場所：春日部市市民活動センター 会議室1・2（4階）

参加人数：最大30名まで

6/28（日）10:00 - 12:00 7/3（金）14:00 - 16:00

令和2年度最初の利用者会議を開催します。今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、開催日を2日間に分けての分散開催を予定しています。また、3密を考慮し、参加人数についても制限を設けますが、今回は当日の様子をオンラインでも中継したいと考えており、ご自宅などからインターネットを通じてご参加いただくことも可能です。

利用者会議は、ぼぼら春日部を日々利用している皆さまに、施設の利用方法や運営について意見交換を行う場です。ぼぼら春日部は6月より会議室などの貸し出しを再開しましたが、現在も一部利用制限を設け、ご利用の皆さまにご協力をいただきながら運営している状況です。ぜひこの機会に、コロナ対策の状況下における施設のご利用方法について意見交換をしてみませんか？当日どうしても都合がつかない方は、事前に窓口にご意見をお寄せください。皆さまのご参加をお待ちしています。



ボシュウ

無料

要予約

## オンライン会議の活用相談

講師：春日部市市民活動センター アドバイザー市川、生越

場所：春日部市市民活動センター 受付窓口

毎月第1・3水曜 第2・4木曜

市民活動の打ち合わせも、集まることが難しい期間が続いていますが、インターネットやパソコン、スマートフォンのカメラやマイク機能を活用したオンライン会議（WEB会議）も利用されはじめています。そこで「私たちの団体でもやってみたいけど、やりかたがわからない！」など、この機会に試してみたいという方を対象に、6月からオンライン会議の活用相談に対応します。詳しい日程はホームページをご確認ください。

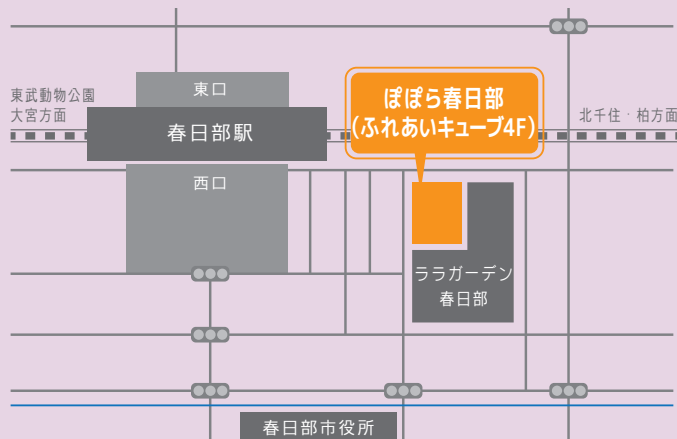


オシラセ

## 新規登録団体情報

前号以降に新規登録された団体さんをご紹介します。センターでは積極的に団体同士の交流やマッチングを行っております。それぞれの団体の活動内容を館内に配架してある団体ファイルなどでチェックし、ご関心のある方はいつでもセンター窓口にお問い合わせください。

- 全日本年金者組合春日部支部
- 春日部市ふれあい大学第37期会
- 春日部おはなしの会
- たのしい気功クラブ（順不同）



※東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩5分。  
※駐車場（有料）は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから

048-731-3550

popola@kasukabehall.jp

## 春日部市市民活動センター（ぼぼら春日部）

年中無休（年末年始を除く）9:00～21:30

TEL 048-731-3550 FAX 048-734-1605

〒344-8578 埼玉県春日部市南1-1-7 ふれあいキューブ4階

<http://kasukabe.genki365.net/>

<https://www.facebook.com/popolakasukabe/>



※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。登録には窓口でのヒアリング及び登録申請書、団体の規約、名簿、活動実績等の資料の提出が必要となります。詳しくは上記窓口にお問合わせください。

※交流・ミーティングスペース、キッズスペースなどは、団体登録なしにどなたでもご自由にご利用いただけます。